
血液事業部会 令和元年度第2回運営委員会

日本製薬株式会社 事業方針のご紹介

日本製薬株式会社
代表取締役
福富 康浩



研究開発型

独自の研究開発エンジンによりイノベーションを促進



12



ソース: 武田薬品工業 第143回定時株主総会 CEOプレゼンテーション



5つの主要ビジネスエリアにおける14のグローバル成長ブランドが売上収益の成長を牽引

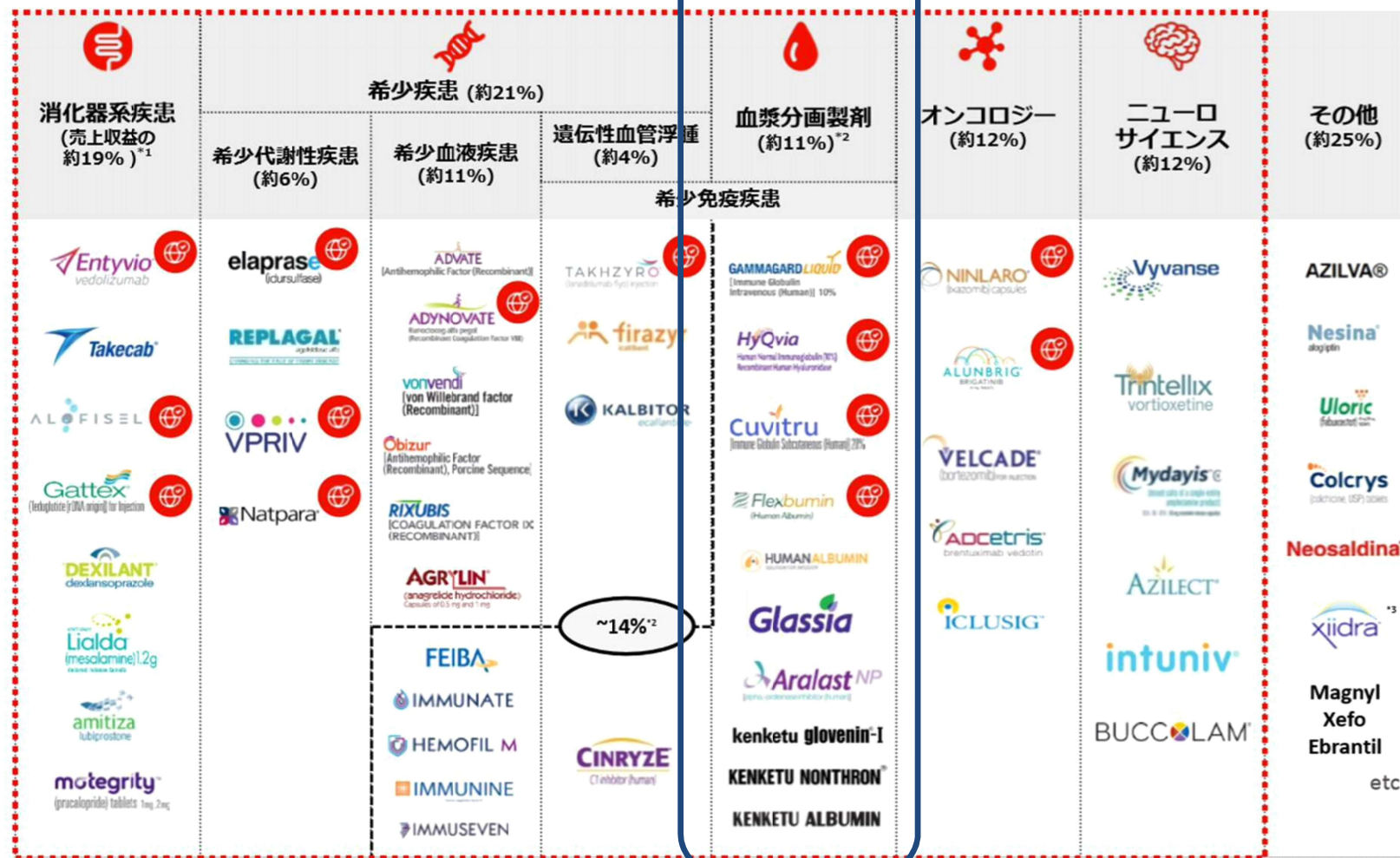
5つの主要ビジネスエリアにおけるポートフォリオが売上収益の約75%を占める*1

14 グローバル成長ブランド

*1 (%) : 2018年度売上収益 Pro-formalは2018年4月~2019年3月の旧武田薬品と旧Shire社製薬を合計売上高を期中(2018年4月~2019年3月)平均レート、1ドル=111円で換算したものの

*2 約11%は遺伝性血管浮腫および希少血液疾患に含まれる血漿分画製剤のCinryze、Feiba、Immunate、Hemofil M、Immunine、Immusevenを除く。これら製品を含めると約14%

*3当社は2019年5月8日、当社はXiidraの譲渡契約をノバルティス社と締結したことを公表



ソース:武田薬品工業 第143回定時株主総会 CEOプレゼンテーション



日本製薬株式会社
NIHON PHARMACEUTICAL CO.,LTD.

バリュー（価値観）重視

1781年から200年以上にわたり培われたバリュー（価値観）が長期的成功の基盤

バリュー（価値観）



私たちは、4つの重要事項について、その優先順位に従って考え、行動や判断の基準とします。

1

常に患者さんを
中心に考えます

2

社会との信頼
関係を築きます

3

レピュテーションを
向上させます

4

事業を発展
させます

ソース：武田薬品工業 第143回定時株主総会 CEOプレゼンテーション

